



▲円山の全景

中央区は都心にありながら、豊かな自然に恵まれています。
 円山や藻岩山、三角山の散策ルートでは、気軽に森林浴も楽しめます。
 さあ、今年の夏は自然を満喫しに出掛けてみませんか。

円山ルート

大正3年、円山村開拓の功労者である上田万平らにより、円山頂上までの登山道が開かれたルートで、手軽なハイキングコースとして市民に親しまれています。
 中心部から近いこの山は、四季の彩りと共に市民の生活に解け込み広く親しまれています。また、円山公園から約一時間ほどで登れる手軽さもある。また、子どもからお年寄りまで、多くの人が訪れています。

●八十八カ所コース

この道は最もよく使われており、八十八カ所入口から登り始めて全長約1キロ、登り約40分・下り約30分のコースです。八十八体の観音像をお参りしながら登るのも楽しみの一つです。



●円山動物園ウラコース

もう一つは西の尾根からの道で、円山動物園の裏から登るコースです。全長約0.7キロ、登り約30分・下り約20分。

◆円山にはシマリス(写真左)

などの小動物も多く、散策中には小さなお友達に会えるかもしれません。

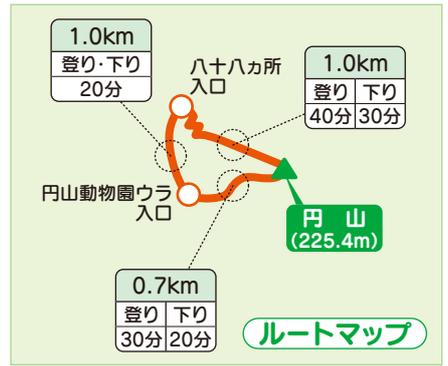


▲山神の碑



▶八十八カ所入口

◆円山の山頂の一角にどっしりと建つ「山神の碑」は、明治の初めに、採石場の石切り作業の安全を祈願するために建立されたといわれています。



▲三角山山頂

三角山く盤溪ルート

戦後、個人に売却され、採石地となりますが、市民運動により昭和44年に市の所有になりました。きれいな三角形をしたこの山は、登山というより散歩に近い感覚で森林浴を楽しめる場所です。
 分かりやすい看板が各所に設置され、また、コースの途中には、あずまやもあります。



▶十の坂のあずまや

●宮の森コース

全長約1.7キロ、登り約45分・下り約35分。なお、宮の森コース入口には駐車場があるので、公共交通機関などをご利用ください。



▲三角山山頂からの眺望

